

新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けた研修等の対応方針について

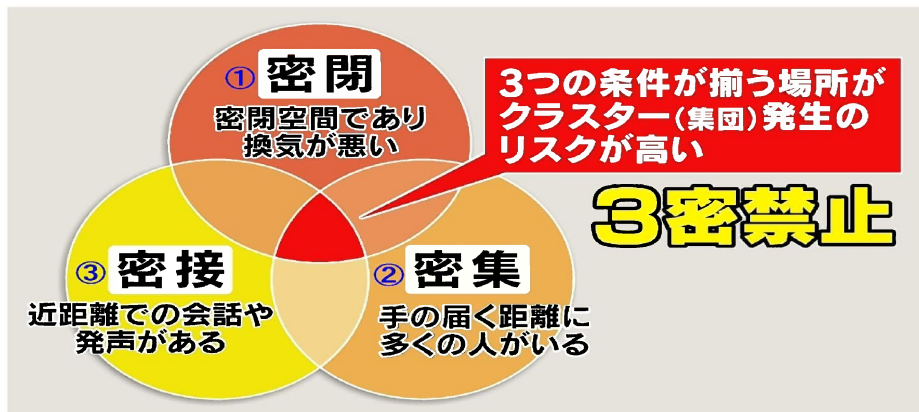
当センター主催の研修会・講習会については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、宮城県主催イベント開催についての基本的な考え方に準拠し、下記の対応をいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症における当日までの社会情勢によって、急遽中止の判断をする可能性がございます。その場合は、メール及びホームページにてお知らせします。

また、宮城県と共催する研修会・講習会については、宮城県と協議の上、お知らせします。

記

1 集団発生リスクの対応



① 密閉・・・密閉空間で換気が悪い

対応：概ね1時間から2時間毎に窓を開放して室内換気（5分～10分）を行う。

なお、窓が開放できない場合は、空調を強めにし室内換気を行う。

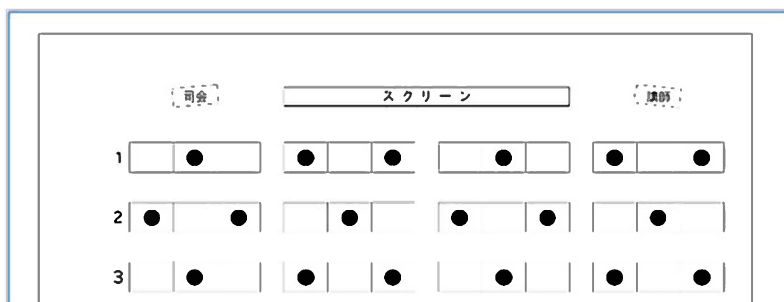
（空気清浄機がある場合は、設置する。）

② 密集・・・手の届く距離に多くの人がいる

対応：人と人との距離を確保するため、座席間は受講者が出来るだけ重ならないよう

ちどり配置とする等、十分な間隔をとる。

講師演壇と受講者席の間を広く間隔をとる。



会場イメージ

③ 密接・・・近距離での会話や発生がある

対応：近距離での会話等を避けるため、学校形式とする。

質疑応答の場合、センター職員が質問者へアルコール消毒されたマイクを持って行く。マイクは質問の都度、アルコールで拭き取る。

なお、メール等での受付も可とする。

2 集団発生リスクの対応を受けた開催対応

① 受講条件として、下記に該当する方は、参加を控えていただきますよう、 お願いします。次のいずれにも該当しない方を受付いたします。

- ・風邪のような症状（発熱・倦怠感・喉の痛み等）がある方
- ・過去2週間以内に海外（感染流行国）又は国内の感染流行地域（クラスター等）へ旅行・出張した方
- ・体調不良の者

なお、講師、センター職員にも同じ条件としております。

② 入場時対応として、下記の対応をとりますので、ご了承願います。

- ・受講者名簿等による受付を行い、連絡先等を把握する。
- ・職員が非接触型体温計で入場者の体温を計測し、体温 37.5 度以上であった場合、入場を控えていただく。
- ・入場の都度、手指を備え付けのアルコール消毒液で除菌する。
- ・受講者には、マスクの着用及び咳エチケットの励行を促す。
- ・その他、手洗い・うがいの励行を求める。

なお、講師、センター職員にも同じ条件としております。

③ 会場では、下記の対応をしております。

- ・受講者名簿等により座席を指定し、当日の受講生の体調等を把握する。
- ・事前に机、椅子、器具の除菌を行う。

なお、開催日が連続する研修は、その都度、除菌を行う。

3 開催の実施、中止等の判断

- ・講師が国内の感染流行地域から派遣される集合研修等は、当面開催しない。
- ・開催予定日の1週間前までに実施の是非を判断する。